

平成27年度
学校関係者評価 報告書

学校法人 東杜学園

国際マルチビジネス専門学校

平成27年度 学校関係者評価報告書

学校法人東杜学園 国際マルチビジネス専門学校では、教育理念、教育目的等をはじめとする学校教育及び学校運営について現状を点検し、その改善を図るため自己点検・自己評価を実施し「平成27年度自己点検評価報告書」を取りまとめ、当校ホームページに公開致しました。

また、学校関係者評価委員会を設置し、本校に関連する業界・企業の皆様より当校の学校教育及び運営に対しご意見やご指導を頂きました。頂戴致しましたご意見等につきましては「平成27年度学校関係者評価報告書」としてご報告させていただきます。

委員の皆様から頂戴いたしました貴重なご意見やご指摘を今後の学校運営に反映させ、教職員一同社会のニーズに応えられる学生指導と教育の質のさらなる向上を目指して参る所存です。

関係者の皆様には、今後共なお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年11月

学校法人 東杜学園

国際マルチビジネス専門学校

校長 野口 和江

【学校関係者評価委員会】

開催日時 : 【第1回】平成28年 9月 1日 (木) 14:45~15:35

国際マルチビジネス専門学校4階 トラベルカウンター実習室

【第2回】平成28年11月 1日 (火) 14:45~15:40

国際マルチビジネス専門学校2階 ホテル実習室

学校関係者評価委員（敬省略）

高木 友子 氏 公益財団法人 日本ケアフィット共育機構 事務局長

吉田 裕幸 氏 株式会社 JTB 東北 執行役員 総務部長

齋藤 康紀 氏 株式会社 仙台ターミナルビル株式会社ホテルメトロポリタン仙台 宴会課長

小笠原 均 氏 有限会社 花嫁の千登勢 営業次長

本村 陽 氏 株式会社 日比谷花壇 イベントプロデュース事業統括部 グループリーダー事務局

野口 友子 学校法人 東杜学園 理事長

野口 和江 国際マルチビジネス専門学校 校長

熊谷 文志 国際マルチビジネス専門学校 教務部

吾妻 祐子 国際マルチビジネス専門学校 教務部

伊五澤 和男 国際マルチビジネス専門学校 就職部

三橋 英一 国際マルチビジネス専門学校 広報部
島村 香奈子 国際マルチビジネス専門学校 広報部

尚、第2回委員会については吉田委員が欠席のため、事前に10月27日にご意見を伺ったものを反映させた。

【学校関係者評価について】

平成27年度自己評価報告について説明をし、各委員より意見を頂戴した。

(1) 教育理念・目標

サービス業において必要とされる「誠実さ・謙虚さ・思いやり」を基軸とした「人間力」の育成について、引き続き強化すべきとのご意見を頂戴した。

また、同様に社会人基礎力として求められる「考えさせ、考え方・一歩踏み出す積極性・組織力」を養うことが今後より必要になり、『良い人材に、長く勤めて頂きたい』ことにつながるのではないかとのご意見を頂いた。

(2) 学校運営

時代の要請に応じたリスクマネジメントや各法改正等、階層やグループにもよるが教職員の研修としてより必要性が増すのではないかとのご意見を頂戴した。

(3) 教育活動

新しい分野や科目の開講時における教員並びに講師の手配についてご質問があった。

通年授業として講師の確保が難しい際には特別授業を実施し、学ぶ機会を逸しない配慮を行っている旨回答した。

(4) 学修成果

特に委員会からの意見はなかった。

(5) 学生支援

特に委員会からの意見はなかった。

(6) 教育環境

昨年ご意見を頂いた「学内で行う講義に加え学外研修の機会を増やし、より実践の場を設ける」ことに対し、今年度の海外研修旅行で行った就業実習や学校行事等の取組を開始したことについて報告をし、また今後拡充していく旨を回答した。

(7) 学生受け入れ募集

当該分野の入学希望者の動向や高等学校の進路指導についての概況についてご質問があり、現在の状況について回答した。

(8) 財務

特に委員会からの意見はなかった。

(9) 法令等の遵守

(2) と同様、法改正等に対応していくと説明した。

(10) 社会貢献・地域貢献

学生が自ら企画し、社会参加ができる枠づくりを模索すべきとの意見を頂戴した。

(11) 国際交流

留学生受入による学習指導、生活指導及び就職指導について体制整備の必要性がある旨の説明を行った。また、現在の出願状況や在仙の専門学校の状況について質問があった。

3.課題

意見のあった内容を学内で検討し、改善案をまとめ平成28年度以降の改善を目指す。

以上

平成27年度 財務諸表

資金収支計算書

平成27年 4月 1日から
平成28年 3月 31日まで

(単位:千円)

収入の部		支出の部	
学生生徒等納付金収入	174,675	人件費支出	76,158
手数料収入	1,307	教育研究経費支出	62,192
補助金収入	399	管理経費支出	41,518
資産運用収入	199	設備関係支出	1,409
資産売却収入	100,000	資産運用支出	125,000
事業収入	24,862	その他の支出	15,443
雑収入	2		
前受金収入	111,272		
その他の収入	9,569		
資金収入調整勘定	△ 139,989	資金支出調整勘定	△ 6,642
前年度繰越支払資金	283,187	次年度繰越支払資金	250,405
収入の部 合計	565,483	支出の部 合計	565,483

消費収支計算書

平成27年 4月 1日から
平成28年 3月 31日まで

(単位:千円)

消費収入の部		消費支出の部	
学生生徒等納付金	174,675	人件費支出	76,158
手数料	1,307	教育研究経費支出	72,907
補助金	399	管理経費支出	42,869
資産運用収入	178		
事業収入	24,862		
雑収入	2		
帰属収入合計	201,423		
基本金組入額合計	△ 1,409		
消費収入の部 合計	200,014	消費支出の部 合計	191,934
		当年度消費収入超過額	8,079
		前年度繰越消費収入超過額	133,485
		翌年度繰越消費収入超過額	141,564

貸借対照表

平成28年 3月 31日現在

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
固定資産	529,561	固定負債	0
		流動負債	111,316
		負債の部 合計	111,316
流動資産	256,115	基本金の部	
		第1号基本金	532,796
		基本金の部合計	532,796
		消費収支差額の部	
		翌年度繰越消費収入超過額	141,564
		消費収支差額の部合計	141,564
資産の合計	785,676	負債の部・基本金の部及び 消費収支差額の部合計	785,676